

授業科目名(英文名) / Course title	災害救援ボランティア論 / Leadership of Disaster Volunteer				
担当教員(所属) / Instructor	奥寺 敬(医学部医学科)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2018年度 / Academic Year 後期	対象所属 / Eligible Faculty	履修不可用		
時間割コード / Registration Code	101706	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 ,3 年 ,4年	単位数 / Credits	2単位
ナンバリングコード / Numbering Code	X1000412000				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact					
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>災害救援ボランティア推進委員会は阪神・淡路大震災の教訓を基に、大災害を想定した災害救援ボランティアリーダーの育成・登録活動に当たる民間団体として設立されました。</p> <p>「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、周りの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行います。本カリキュラムでは、この災害救援ボランティアを包括し、富山大学と地域の共同研究の成果を加えた本学独自の科目です。</p> <p>1995年7月17日にライフラインの関係者の那須翔(東京電力会長・当時)、渡辺宏(東京ガス会長・当時)、河野俊二(東京海上火災保険社長・当時)、児島仁(日本電信電話社長・当時)、報道関係者の吉村秀實(日本放送協会解説主幹・当時)、行政経験者の長岡實(日本たばこ産業顧問・当時)教育関係者の澤野裕治(日本法学会理事・当時)らが中心となって会をボランティアの民間任意団体として結成し、委員長に石原信雄(元内閣官房副長官)を選出し事務局を公益財団法人日本法学会内に置きました。会の目的に『大地震等の大規模災害に備えて、災害救援を希望する人たちのための講座を行い、災害救援ボランティアを日常的に教育訓練し、地域防災に貢献していくこと』を掲げ、以後、災害救援ボランティア育成及び地域防災の推進、防災の普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>「災害救援ボランティア論」では、この災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<p>総務省消防庁が示した基準に基づき、災害救援ボランティア推進委員会が推進する認定資格「セーフティリーダー(SL)」及び総務省消防庁の救命講習である、普通救命講習(AED含む)を取得すること。</p>					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
<p>平成31年2月12日(火)から2月15日(金)までの4日間で実施します。</p> <p>講義, 実習, 演習, 学外施設見学</p> <p>2月12日(火) 1~4限</p> <p>第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学(講義)</p> <p>第2回 災害ボランティア活動の基本(講義)</p> <p>第3回 富山県の防災対策(講義)</p> <p>第4回 トレーニング 倒れている人をどう救うか(実習)</p> <p>2月13日(水) 1~4限</p> <p>第5回 被災地での安全衛生とコミュニケーション(講義)</p> <p>第6回 災害時のリーダーシップとチームビルディング(講義)</p> <p>第7・8回 施設見学・災害体験 富山県広域消防防災センター四季防災館 (実習)</p> <p>2月14日(木)</p> <p>第9回 地形図から災害を予測する(講義)</p> <p>第10回 防災机上訓練DIG、洪水ハザードマップの活用 (講義)</p> <p>第11・12回 普通救命講習(AED含む) (実習)</p> <p>2月15日(金)</p> <p>第13回 自然について学び・深めて災害対策(講義)</p> <p>第14回 大学における災害対策(講義)</p> <p>第15回 災害時の医療救援活動(講義)</p>					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
<p>事前学修 シラバスの授業計画の項目について、事前に関連文献やインターネット等を利用して自己学修を行う。</p> <p>事後学修 その日の重要なポイントがどこかを、教材・自分のノートで再確認を行い、知識・技能の定着を図る。</p>					
キーワード / Keywords	災害救援, ボランティア, 救命活動, 地域防災, 自主防災				
履修上の注意 / Notices	実習にふさわしい服装で受講すること				
教科書・参考書等 / Textbooks	適宜支持する				
成績評価の方法 / Evaluation	講義・実習の参加態度及びレポートによる総合評価				

平成30年度災害救援ボランティア論日程表

教室: 共通教育棟 D21番教室

時期	限	時間	事項	担当講師
平成31年2月12日(火)	1	8:45~10:15	災害救援ボランティアと危機管理医学	奥寺 敬 (大学院医学薬学研究部教授)
	2	10:30~12:00	災害ボランティア活動の基本	澤野 次郎 (災害救援ボランティア推進委員会委員長)
		12:00~13:00	昼休み	
	3	13:00~14:30	富山県の防災対策	松井 邦弘 (富山県防災・危機管理課 課長)
平成31年2月13日(水)	4	14:45~16:15	トレーニング 倒れている人をどう救うか ※黒田講堂会議室(仮)で行います	布村 忠弘 (人間発達科学部教授), 宮崎 賢哉 (災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士)
	1	8:45~10:15	被災地での安全衛生とコミュニケーション	宮崎 賢哉 (災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士)
	2	10:30~12:00	災害時のリーダーシップとチームビルディング	宮崎 賢哉 (災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士)
		12:00~13:00	昼休み	
平成31年2月14日(木)	3・4	13:00~17:00	施設見学・災害体験	富山県広域消防防災センター四季防災館
	1	8:45~10:15	地形図から災害を予測する	大西 宏治 (人文学部准教授)
	2	10:30~12:00	防災机上訓練DIG 洪水ハザードマップの活用	大西 宏治 (人文学部准教授)
		12:00~13:00	昼休み	
平成31年2月15日(金)	3・4	13:00~17:00	普通救命講習(AED含む) (4時間コース) ※黒田講堂会議室(仮)で行います	富山市消防局
	1	8:45~10:15	自然について学び・深めて災害対策	安江 健一 (都市デザイン学部准教授)
	2	10:30~12:00	大学における災害対策	安江 健一 (都市デザイン学部准教授)
		12:00~13:00	昼休み	
	3	13:00~14:30	災害時の医療救援活動	若杉 雅浩 (大学院医学薬学研究部准教授)